

事業計画書

1 平成24年度の事業方針

当財団は、昭和34年8月任意団体として誕生以来「蛋白質・ペプチド等に関する研究と、これらに関する学術研究の奨励と向上の発展に寄与することを目的」として長年にわたり事業を展開してきました。

しかし、当財団においても世界的な金融・経済危機の影響を受け各事業とも厳しい状況にあります。

また、新公益法人制度改革三法が施行され3年が経過しました。本年度中に移行申請を予定しております。

2 予算編成方針

一般会計及び収益事業会計の二つとします。

3 研究助成等事業

(1) 研究助成等事業

大阪大学蛋白質研究所における研究助成、講演会・セミナー開催助成や蛋白質・ペプチド等学会開催助成及び奨学金や研究奨励金の交付を行います。

(2) 研究支援等事業

蛋白質・ペプチド等に関する文献データベースや各種のデータベースの構築及びシステムの研究開発を長年独自に展開してきました。当財団が開発したデータベース等は多くの研究者、研究機関が利用しており、今年度も引き続き研究支援事業として、データベースの構築および公開を継続します。

また、長年にわたるデータベース構築、コンピュータシステム開発の経験をいかして個々の研究者や研究機関によるシステム構築の支援を行います。

(3) 受取補助金

当財団において、長年にわたりペプチド・蛋白質の各種の複合的な情報を集積したデータベースを構築し、ペプチド情報として一元的にまとめ多くの研究者に情報の提供を行っています。

ペプチドに関する多様性に富んだ情報については、各界からの要望も高く、それに応えるため情報収集・研究開発を今後も進め必要かつ重要な情報源の役割を果たしていきます。

昨年度に引き続き研究開発に必要な研究費の要求を行うため、日本学術振興会に計画調書を提出しました。

(4) レンタルサーバー事業

複数台構成専用サーバーを設置し、サーバーシステムのレンタルを行います。

サーバー設置のための基盤システムの賃貸しを行います。あわせて、サーバーシステムの管理、指導業務を行います。

(5) 建物等賃貸事業

当財団の建物の一部を化学系・生物系・情報系研究室向け研究機関等に賃貸しを行います。

また、旧食堂棟は老朽化等今後の使用予定がないため取り壊し、その跡地に月極め駐車場(7台)を新設しました。